

An aerial photograph of a lush green landscape, likely a forest or park, with a large white text box overlaid in the center. The text box contains the title of the event. The background shows rolling green hills and a clear sky.

北海道岩見沢市グリーンイノベーション ～寒冷地の脱炭素化に向けて～

気候変動ワークショップ
2024. 6. 5

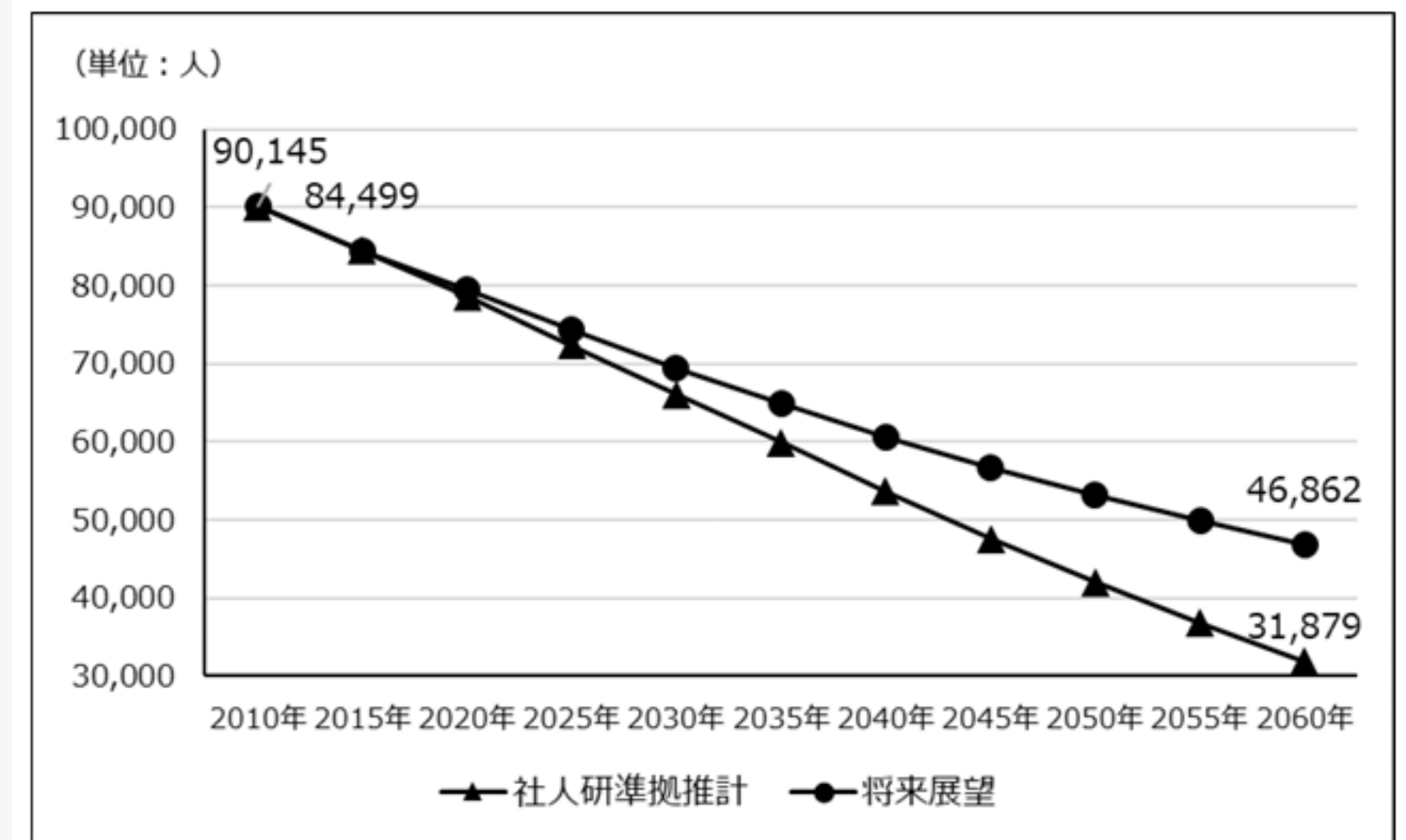
寒冷地の地域脱炭素に注目した背景

- 除雪、排雪、ロードヒーティングなど
他の地域に比べてエネルギーを多く消費している

⇒ **岩見沢市は積雪量が1位**

- 温暖な地域と比べて
人口減少が激しい

⇒ 岩見沢市は...



第2期岩見沢市総合戦略より

岩見沢市の概要



- 石炭産業で発達した町
- 田んぼ、山林が7、8割
- 稲作などの農業が産業基盤
- 札幌市と旭川市の間地点

「鉄道交通」と
「自治体間連携」の
2本立てで課題解決!!



鉄道交通⇒

水素燃料電池列車の導入

- 積雪量の多い特徴を活かし、雪水の電気分解により水素を生成
- 日の出町雪堆積場の近くに水素製造設備を設置



冬⇒中間処理施設のゴミの焼却熱で
雪を溶かす

夏⇒冬に貯めた雪が自然に溶ける
状態を利用する
(夏に向けて残り3つの雪堆積場
でも雪をためておく)

鉄道交通⇒ 水素燃料電池列車の導入

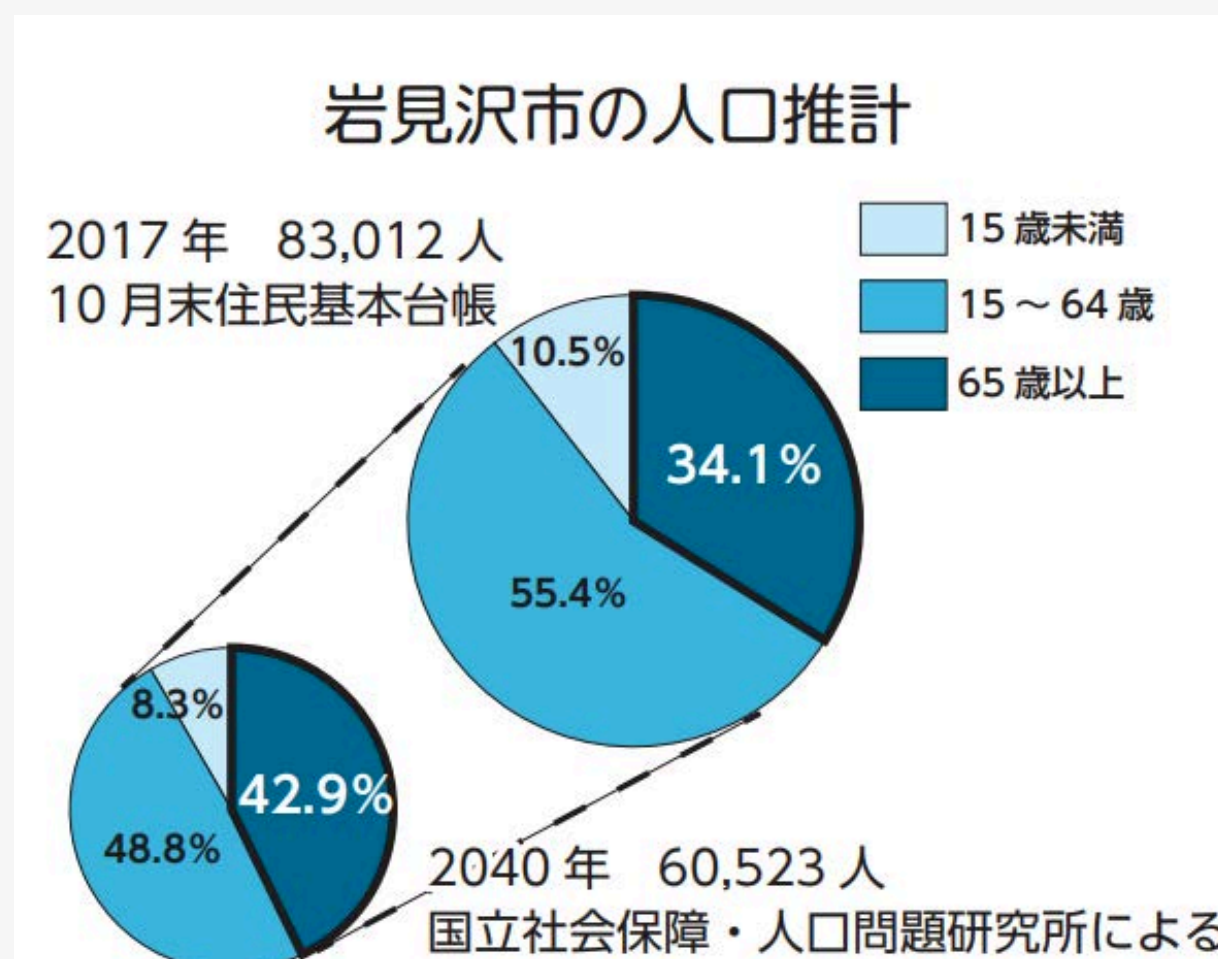
- エネルギーの地産地消ができる
- 雪の有効活用になる
- 水素で走るバスなど、他の交通機関にも応用できる
- 各観光名所まで行くことができるようになれば、
グリーンなまちづくりとして更なる注目を集める

将来的には、

雪以外に汚水からバイオ燃料で水素を生成するなど、
他の方法での水素製造につなげる

列車から脱炭素地域のアピール

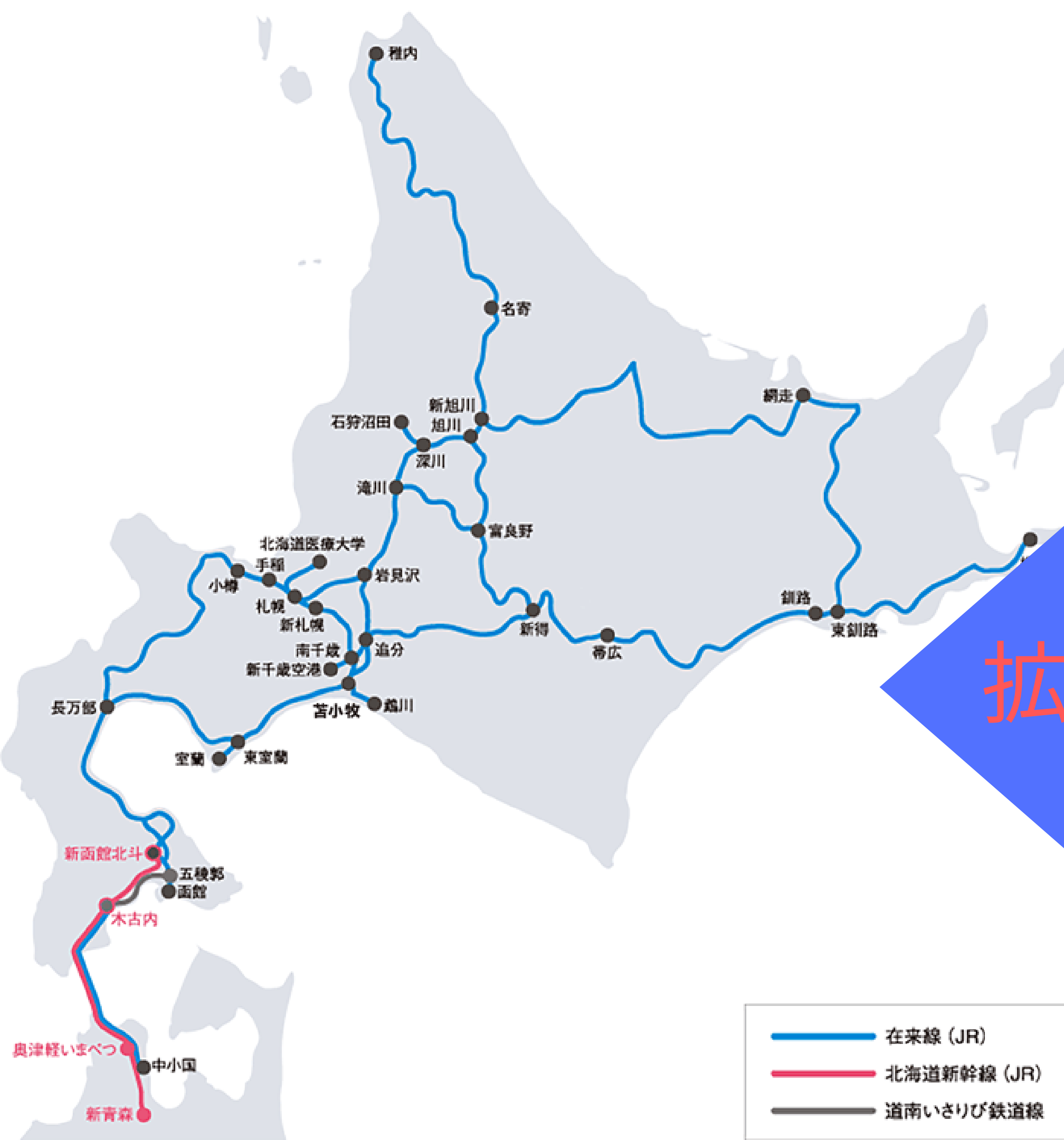
- 高齢化により「地域の足」となる交通機関は重要
- 岩見沢市のゼロカーボンシティの表明
- 石炭や農業を背景に早くから交通の要衝として発展
→列車の存続と環境へのやさしさのアピールに繋がる



モーターシフト

救急車・緊急車両の
問題も・・・





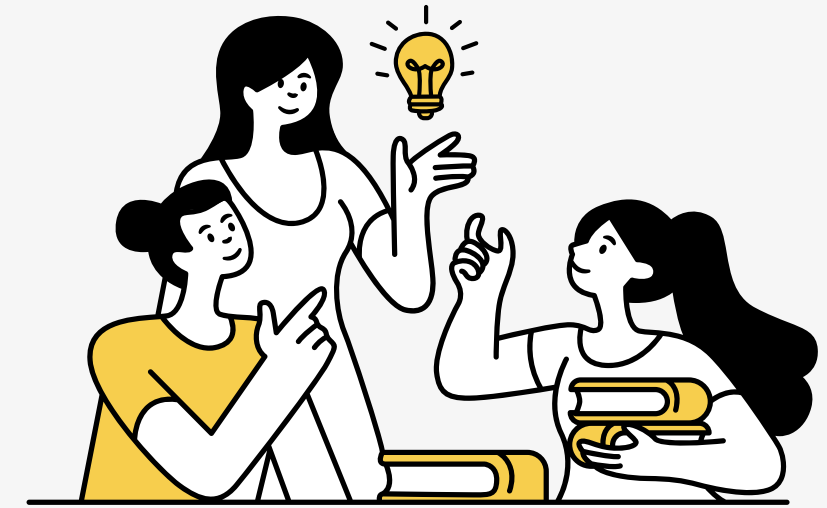
拡大すると・・・





非電化区間

自治体間連携



1, 市を主体として、都内の自治体との連携を進める
「交流プログラム」

- 企業の人 自治体や住民との交流プログラム
 知識を持った人が集まる→技術を活かせる
- 都民 エコツアーリズムなどの観光、
 農業体験プログラム、イベントコラボ
- 都内の生徒や学生向け 里山の保全プログラム、自然学習、環境学習

多くの人材や居住者が集まる都会からの交流人口が増えることで、
岩見沢市の地域脱炭素を進める人材を増やすことに繋がる

	資源名		資源名
観光名所ポイント	いわみざわ公園（バラ園）	景色景観	北海幹線用水路
	リトルロックヒルズ		利根別原生林
	北海道グリーンランド		山七公園
	玉泉館跡地公園		ポプラ並木
温泉宿泊施設	スパ・インメープルロッジ		見晴台
	北村温泉		田園風景
ワイナリー ヴィンヤード	宝水ワイナリー		プラタナス並木
	10Rワイナリー		天狗まんじゅう
	KURISAWA BLANC（ナカザワヴィンヤード）	フルーツ工房毛陽りんごジュース	
	KONDO ヴィンヤード	米（ゆめぴりか、ななつぼし等）	
イベント	いわみざわ彩花まつり	岩見沢産小麦キタノカオリ製品	
	ふるさと百餅祭り	アップルパイ	
	くりさわ農業祭	きじラーメン	
	きたむら田舎フェスティバル	こぶ志焼き	
	IWAMIZAWA ドカ雪まつり	純米ゆわみさわ	
歴史文化	万字線鉄道公園（旧朝日駅）		
	そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター		
	JR岩見沢レールセンター		
	万字炭山森林公園		



岩見沢市観光資源振興戦略平成28年3月

岩見沢市には注目されていない
良いところがまだまだたくさんある！！

北海道産のお米を一番消費しているのは東京都内！

都内の人々が岩見沢市に**関心を持つ**もことが大切！

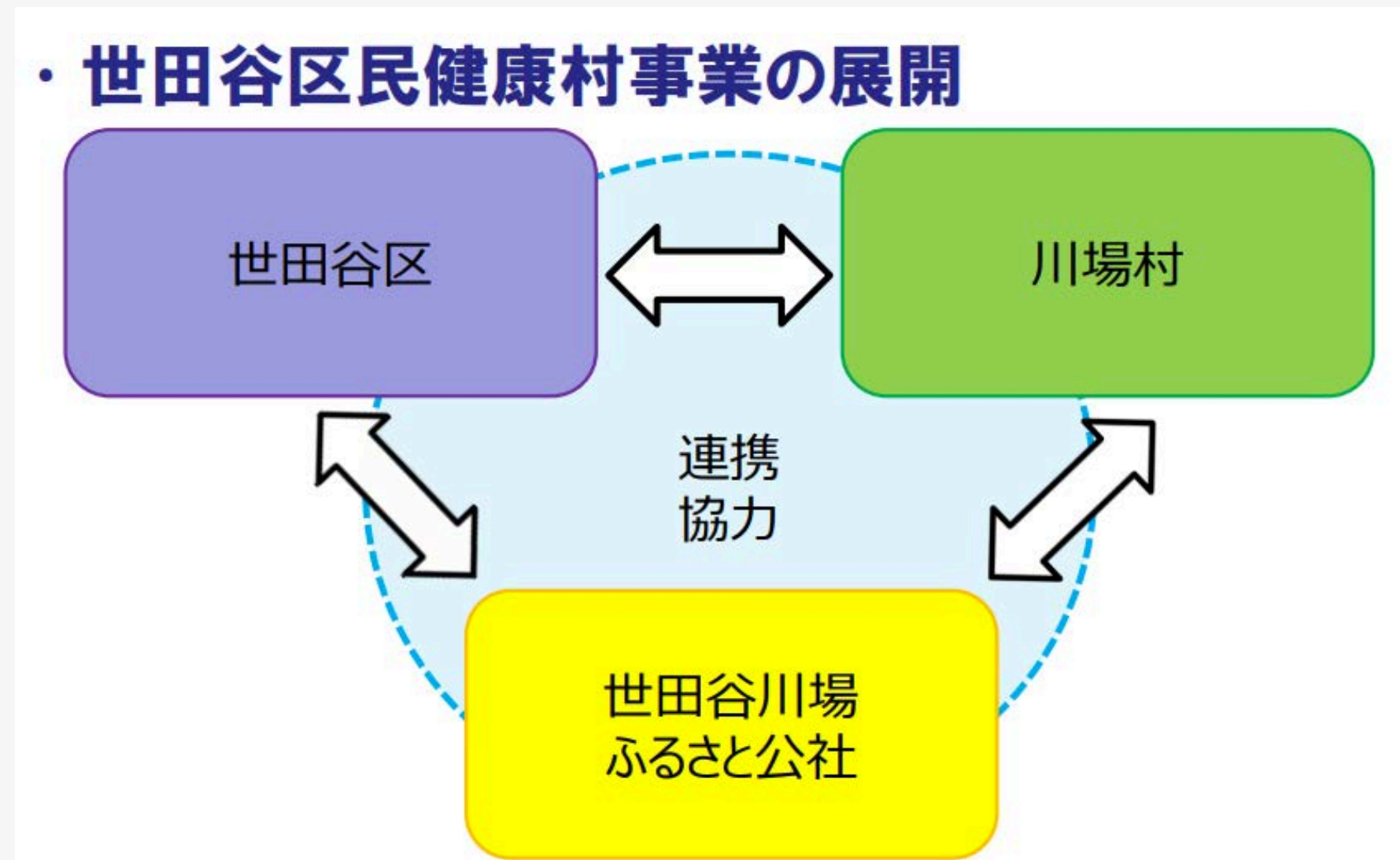
自分たちの生活を支える地域とその地域の課題を知る
都民の考えるきっかけとなる

⇒ 岩見沢市の地域脱炭素に繋がる



自治体間連携 ～「都市農村交流による地域振興」～

「群馬県川場村と東京都世田谷区の事例」



令和3年度 第1回 特別区全国連携講演会 世田谷区 事例報告より参照

農産物の直売・特産品販売:

川場村の農産物や特産品を世田谷区で販売

都市住民に新鮮な農産物を提供するとともに、川場村の経済を支援。

観光・宿泊プログラム:

世田谷区の住民が川場村を訪れ、農業体験や自然体験を行うツアーを実施。これにより川場村の観光収益を増加させる。農業技術教室、棚田オーナー、レンタルアップル、レンタル農園など...

教育・体験学習:

学校や家庭向けに、川場村の自然や文化を学ぶ教育プログラムを提供。特に子供たちが農業や自然の大切さを学ぶ機会を創出。（区民健康村を活動拠点として、世田谷区民による森林保全活動）（親子里山体験コース）（小学生：里山自然体験、移動教室 中高生：農山村体験活動）

共同プロジェクト:

世田谷区と川場村の自治体や団体が連携して、地域活性化のためのプロジェクトを推進。

文化イベントやフェスティバルの共催など、手作りそばの会

川場村 : 1975年～農業従事者の高齢化進行と兼業農家の割合増加
→遊休農地の増加と田園風景の荒廃をどうにかしたい

世田谷区 : 豊かな自然の恵みを都会では望めなくなった
→地方の方々と相互に協力して都市と山村の交流を深め、
「第二のふるさと」がほしい

自然環境と田園景観を活かした「農業プラス観光」を基本方針に構想が一致
1981年に「区民健康村相互協力に関する協定（縁組協定）」が結ばれた

川場村で1986年に二つの区民健康村が建設され、
毎年50,000人程度の世田谷区民の方が区民健康村を利用している



岩見沢市の歴史 = エネルギーの歴史!?



岩見沢市の歴史＝エネルギーの歴史!?

岩見沢市をはじめ、夕張市や美唄市など
空知の都市は石炭産業で発展してきました。
しかし、エネルギーの中心が石炭から石油へ・・・

岩見沢市の歴史 = エネルギーの歴史!?

エネルギーの
最後進地域を

グリーン

・イノベーションで

最先端地域へ!!

岩見沢市
空知
しか